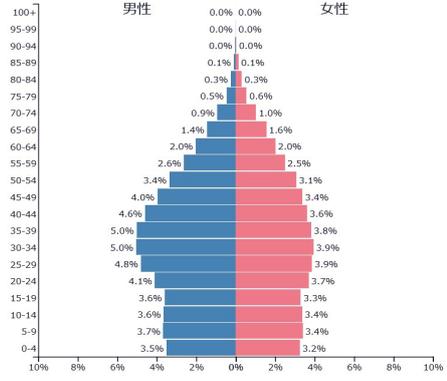
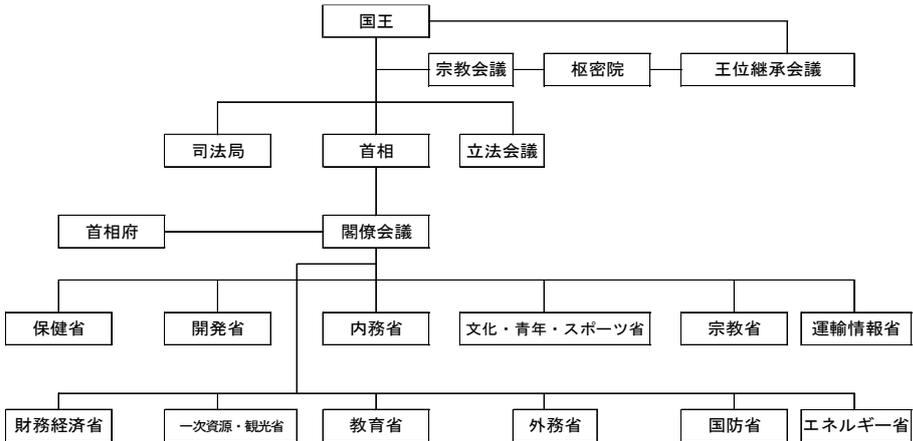
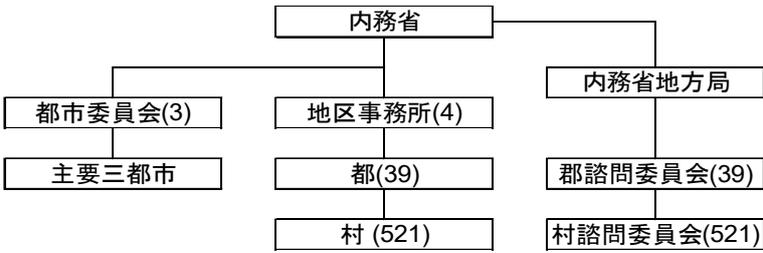




ブルネイの概要

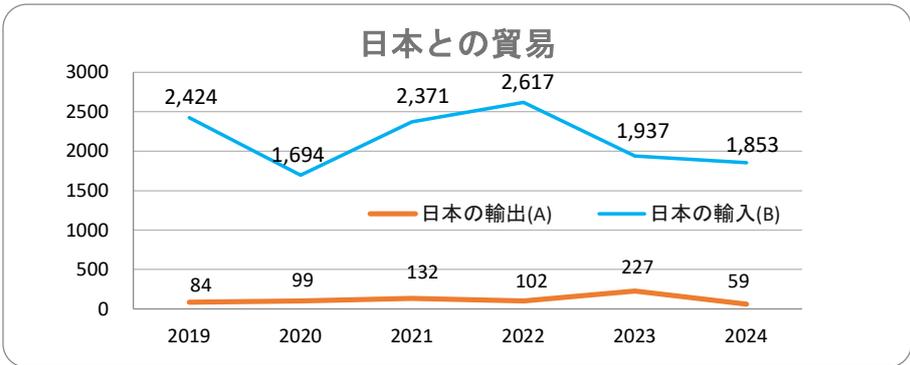
作成 クレアシンガポール事務所 更新日2025年4月

1. 国概要		出典														
正式名	ブルネイ・ダルサラーム国															
国旗	位置図															
		①														
面積	5,765平方キロメートル(三重県とほぼ同じ)	①														
首都	バンドル・スリ・ブガワン															
人口	455,500人(2024年) (外国人在留者含む) 	②③														
民族	マレー系67.4%、中華系9.6%、その他23%	①														
公用語	憲法で公用語はマレー語と定められている。 英語は広く通用し、華人の間では中国語もある程度用いられている。	①														
宗教	イスラム教(国教)(82.1%)、仏教(6.3%)、キリスト教(6.7%)、その他(4.9%)	①														
通貨(為替レート)	1ブルネイ・ドル=約112.94円(2025年4月) (注:ブルネイ・ドルはシンガポール・ドルと等価交換されている)	④														
略史	<table border="1"> <tr> <td>14世紀末</td> <td>アラク・ベタタール王がイスラム教に改宗して初代スルタン・モハマッドとなる。</td> </tr> <tr> <td>16世紀</td> <td>マゼラン艦隊、ブルネイ湾に入港。 第5代スルタン・ボルキアの統治下、サバ州、サラワク州及びフィリピン南部を統治、ブルネイ王国の最盛期。</td> </tr> <tr> <td>1888年</td> <td>英国と保護協定を結び、外交を英国が担当。</td> </tr> <tr> <td>1906年</td> <td>内政を含め英国の保護領となる。</td> </tr> <tr> <td>1959年</td> <td>内政の自治を回復。</td> </tr> <tr> <td>1962年</td> <td>アザハリの反乱(ブルネイ人民党のメンバーによる、スルタン制及びブルネイのマレーシア連邦参加に対する反乱)。 非常事態宣言を発布(現在に至る)。</td> </tr> <tr> <td>1984年</td> <td>英国から完全独立(1月1日)。 日本との国交樹立。</td> </tr> </table>	14世紀末	アラク・ベタタール王がイスラム教に改宗して初代スルタン・モハマッドとなる。	16世紀	マゼラン艦隊、ブルネイ湾に入港。 第5代スルタン・ボルキアの統治下、サバ州、サラワク州及びフィリピン南部を統治、ブルネイ王国の最盛期。	1888年	英国と保護協定を結び、外交を英国が担当。	1906年	内政を含め英国の保護領となる。	1959年	内政の自治を回復。	1962年	アザハリの反乱(ブルネイ人民党のメンバーによる、スルタン制及びブルネイのマレーシア連邦参加に対する反乱)。 非常事態宣言を発布(現在に至る)。	1984年	英国から完全独立(1月1日)。 日本との国交樹立。	①
14世紀末	アラク・ベタタール王がイスラム教に改宗して初代スルタン・モハマッドとなる。															
16世紀	マゼラン艦隊、ブルネイ湾に入港。 第5代スルタン・ボルキアの統治下、サバ州、サラワク州及びフィリピン南部を統治、ブルネイ王国の最盛期。															
1888年	英国と保護協定を結び、外交を英国が担当。															
1906年	内政を含め英国の保護領となる。															
1959年	内政の自治を回復。															
1962年	アザハリの反乱(ブルネイ人民党のメンバーによる、スルタン制及びブルネイのマレーシア連邦参加に対する反乱)。 非常事態宣言を発布(現在に至る)。															
1984年	英国から完全独立(1月1日)。 日本との国交樹立。															

政治		
政体	立憲君主制	①
元首	ハサナル・ボルキア国王(第29代スルタン)	①
議会	立法評議会が1984年の独立直後から停止されていたが、2004年9月に再開。2006年以降、例年3月に2週間開催されている。2011年11月に憲法が改正され、評議員の一部を選挙で選出することが規定されたが、これまで立法評議員選挙関連法規が整備されておらず、選挙により選出された評議員はいない。国王が評議員(45名以内)を任命している。現在の議員は2023年1月20日付で任命された。 (注:立法評議会はブルネイの一院制議会であるが、その権限は限定されており、予算審議等を行うのみに留まっている。)	①
政府	<p>(1)首相 ハサナル・ボルキア国王が兼任 (2)外務貿易相 ハサナル・ボルキア国王が兼任 (ブルネイの国家機構図)</p>  <p>・内閣は1984年の独立以来、首相は国王が兼務し、他の大臣も国王が任命。 ・省の構成は1府12省。大臣―副大臣―次官―局長―一般職員という組織体系で、次官以下は公務員である。</p>	①
地方自治制度	<p>(地方行政機構図)</p>  <p>※ () は設置数</p> <p>・ブルネイには地方自治体は存在せず、「国による地方行政」が行われている。 ・国の出先機関である4つの地区事務所と3つの都市委員会が各地域での行政サービスを行っている。地区事務所の最高責任者は上級政府職員である地区事務所長であり、任命は政府により行われる。 ・地区事務所の主な業務は郡長・村長の選定や政策の説明、住民の要望・不満の汲み上げ等で、その他にも治安維持、インフラ整備、住民への公共サービス・福祉活動がある。 ・都市委員会は主要三都市にそれぞれ設置されており、国王と内務大臣の任命を受けた各省庁の上級政府職員らで構成され都市委員長が最高責任者となる。 ・同委員会の目的は、都市の適切な開発を確保するために施設の提供や規制の強化により住民の生活を改善すること及びビジネス・商業・経済活動に有利な環境を作り出すことである。</p>	

経済																							
主要産業	石油・天然ガス（2021年） （生産量：石油（約10.7万バレル/日）、天然ガス（約115億立方メートル））	①																					
経済成長率（%）	<p>経済成長率（%）</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td></tr> <tr><th>成長率（%）</th><td>3.9</td><td>1.1</td><td>-1.6</td><td>-1.6</td><td>1.1</td><td>4.2</td></tr> </table>	年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	成長率（%）	3.9	1.1	-1.6	-1.6	1.1	4.2	⑤							
年	2019	2020	2021	2022	2023	2024																	
成長率（%）	3.9	1.1	-1.6	-1.6	1.1	4.2																	
物価上昇率（%）	<p>物価上昇率（%）</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td></tr> <tr><th>上昇率（%）</th><td>-0.4</td><td>1.9</td><td>1.7</td><td>3.7</td><td>0.4</td><td>-0.4</td></tr> </table>	年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	上昇率（%）	-0.4	1.9	1.7	3.7	0.4	-0.4	⑥							
年	2019	2020	2021	2022	2023	2024																	
上昇率（%）	-0.4	1.9	1.7	3.7	0.4	-0.4																	
一人あたりGDP （名目、USD）	<p>一人あたりGDP（名目、USD）</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td></tr> <tr><th>GDP（USD）</th><td>29,865</td><td>27,175</td><td>31,781</td><td>37,453</td><td>33,507</td><td>34,044</td></tr> </table>	年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	GDP（USD）	29,865	27,175	31,781	37,453	33,507	34,044	⑦							
年	2019	2020	2021	2022	2023	2024																	
GDP（USD）	29,865	27,175	31,781	37,453	33,507	34,044																	
失業率（%）	<p>失業率</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td></tr> <tr><th>失業率（%）</th><td>6.6</td><td>7.2</td><td>4.9</td><td>5</td><td>5.1</td><td>4.7</td></tr> </table>	年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	失業率（%）	6.6	7.2	4.9	5	5.1	4.7	⑧							
年	2019	2020	2021	2022	2023	2024																	
失業率（%）	6.6	7.2	4.9	5	5.1	4.7																	
総貿易額 （100万USD）	<p>総貿易額</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td></tr> <tr><th>輸出（100万USD）</th><td>7,253</td><td>6,608</td><td>10,504</td><td>14,231</td><td>10,990</td><td>11,249</td></tr> <tr><th>輸入（100万USD）</th><td>5,101</td><td>5,340</td><td>7,228</td><td>9,175</td><td>7,446</td><td>7,296</td></tr> </table>	年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	輸出（100万USD）	7,253	6,608	10,504	14,231	10,990	11,249	輸入（100万USD）	5,101	5,340	7,228	9,175	7,446	7,296	⑨
年	2019	2020	2021	2022	2023	2024																	
輸出（100万USD）	7,253	6,608	10,504	14,231	10,990	11,249																	
輸入（100万USD）	5,101	5,340	7,228	9,175	7,446	7,296																	

貿易品目	1)輸出(2021年) 鉱物性燃料(石油・液化天然ガス等)(約78.1%)、化学製品(約18.5%)、機械・輸送用機器等(約2.0%) (2)輸入(2021年) 鉱物性燃料(約60%)、機械・輸送用機器(約14.6%)、工業製品(約5.6%)、食料品(約7.5%)、化学製品(約6%)	①
主要貿易相手国	(1)輸出(2021年) 中国(20.9%)、日本(20.9%)、オーストラリア(17.1%)シンガポール(13.9%)、マレーシア(5.2%) (2)輸入(2021年) マレーシア(22.0%)、中国(8.2%)、シンガポール(7.1%)、オーストラリア(6.0%)、インドネシア(3.9%)	①

2.日本とのかかわり		出典
大使館	バンドルスリブガワン	⑩
大使	菊田 豊(2024年12月～)	⑩
進出企業数	19社(2023年10月現在)	⑫
日本企業の投資件数と投資額(製造業)	—	
在留邦人数	128名(2024年10月時点)	⑪
在日ブルネイ人数	107名(2022年6月時点)	⑬
貿易		
日本との貿易(100万USD)		⑭
日本の主要輸出入品目	(1)輸出:石油・天然ガス等 (2)輸入:輸送用機械等	①

3.自治体の活動		出典
自治体交流		
姉妹自治体	0件	
JET参加者の数(2024年7月現在)	0名	⑥
JETAA支部	なし	⑥

クレア関連事業	<p>●専門家派遣事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数</th> <th>派遣分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2008</td> <td>1</td> <td>消防・防災</td> </tr> <tr> <td>2010</td> <td>1</td> <td>地域特産品開発</td> </tr> <tr> <td>2011</td> <td>1</td> <td>地域特産品開発</td> </tr> <tr> <td>2013</td> <td>1</td> <td>消防・防災</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>1</td> <td>消防・防火</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>1</td> <td>地域特産品開発</td> </tr> </tbody> </table> <p>●大学セミナー 2018年 ブルネイ大学 2021年 ブルネイ大学(オンライン) 2023年 ブルネイ大学 2024年 ブルネイ大学</p>	年度	人数	派遣分野	2008	1	消防・防災	2010	1	地域特産品開発	2011	1	地域特産品開発	2013	1	消防・防災	2015	1	消防・防火	2017	1	地域特産品開発	
	年度	人数	派遣分野																				
2008	1	消防・防災																					
2010	1	地域特産品開発																					
2011	1	地域特産品開発																					
2013	1	消防・防災																					
2015	1	消防・防火																					
2017	1	地域特産品開発																					
4.その他渡航情報		出典																					
入出国	30日間以内の観光目的の滞在であれば査証は不要（令和6年12月10日より延長）	⑩ ⑰																					
旅券の残存期間	残存有効期間が6か月以上、査証欄の余白が2ページ以上	⑩ ⑰																					
日本との時差	-1時間																						
祝日(2025年)	1月1日(水) 新年 1月27日(月) ムハンマド昇天祭 1月29日(水) 中国暦正月 2月24日(月) 建国記念日 3月3日(月) 「断食月の初日」の振替休日 3月18日(火) コーラン啓示の祝日 3月31日(月) 断食明け祝祭日 4月1日(火) 断食明け祝祭日 4月2日(水) 断食明け祝祭日 5月31日(土) ブルネイ王国軍記念日 6月7日(土) ハリ・ラヤ・アディルアダ(犠牲祭) 6月27日(金) イスラム暦新年 7月15日(火) サルタン(国王)誕生日 9月5日(金) ムハンマド降誕祭 12月25日(木) クリスマス ※ブルネイは通常の休日が金・日曜日のため、金曜日が祝祭日の場合は土曜日が振替休日となる。	⑩																					
予防接種の必要性	入国に必須の予防接種は無いが、破傷風、A・B型肝炎、腸チフス、DPT、ポリオ、MMR、インフルエンザの予防接種をした方が無難	⑰																					
気候	国全体が赤道に近く、熱帯雨林気候に属しており、一年を通じて常夏	⑰																					
電話の掛け方	国際電話会社の番号+673(国番号)+電話番号																						
電力	電圧は240V、周波数は50ヘルツ、コンセントは三つ穴のBFタイプが多く、日本の電化製品を使用する際は変圧器と変換プラグが必要	⑰ ⑱																					
飲用水	水道水は避ける。ミネラルウォーターを飲用した方がよい。	⑰ ⑱																					
日本からのフライト時間	直行便で約6時間30分(成田-バンダルスリブガワン)	⑲																					

【出典】

- ①外務省HP 基礎データ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/brunei/data.html>
- ②ブルネイ政府統計HP [https://deps.mofe.gov.bn/SitePages/Population.aspx#:~:text=The%20preliminary%20count%20of%20Brunei,females%20\(47.4%20per%20cent\).](https://deps.mofe.gov.bn/SitePages/Population.aspx#:~:text=The%20preliminary%20count%20of%20Brunei,females%20(47.4%20per%20cent).)
- ③人口ピラミッド <https://www.populationpyramid.net/ja/%E3%83%96%E3%83%AB%E3%83%8D%E3%82%A4/2021/>
- ④日本銀行HP 報告省令レート(令和5年4月分)
https://www.boj.or.jp/about/services/tame/tame_rate/syorei/hou2205.htm/
- ⑤ブルネイ政府統計 <https://deps.mofe.gov.bn/SitePages/eData%20library.aspx>
- ⑥ブルネイ政府統計 <https://deps.mofe.gov.bn/SitePages/National%20Statistics.aspx>
- ⑦GLOBAL NOTE(出典:IMF) https://www.globalnote.jp/p-cotime/?dno=8870&c_code=96&post_no=1339
- ⑧ブルネイ政府統計 <https://deps.mofe.gov.bn/SitePages/eData%20library.aspx>
- ⑨IMF DATA <https://legacydata.imf.org/?sk=388dfa60-1d26-4ade-b505-a05a558d9a42>
- ⑩在ブルネイ日本国大使館 http://www.bn.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html
- ⑪外務省『海外在留邦人数調査統計』 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/tokei/hojin/index.html>
- ⑫外務省『海外進出日系企業拠点数調査』 https://www.mofa.go.jp/mofaj/ecm/ec/page22_003410.html
- ⑬出入国在留管理庁『在留外国人統計』 https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/toukei_ichiran_touroku.html
- ⑭JETRO <https://www.jetro.go.jp/world/japan/stats/trade/>
- ⑮国際機関日本アセアンセンター https://www.asean.or.jp/ja/tourism-info/brunei_2022/
- ⑯外務省「世界の医療事情」ブルネイ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/asia/brunei.html>
- ⑰クラブツーリズムHP <https://www.club-t.com/sp/kaigai/guide/brunei/info/>
- ⑱地球の歩き方 <https://www.arukikata.co.jp/country/BN/info/power.html#:~:text=%E9%9B%BB%E5%9C%A7%E3%81%A8%E3%83%97%E3%83%A9%E3%82%B0,%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%82%BB%E3%83%B3%E3%83%88%E5%A4%89%E6%8F%9B%E3%82%A2%E3%83%80%E3%83%97%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%81%8C%E5%BF%85%E8%A6%81%E3%80%82>
- ⑲TRAVELTOWN <https://www.traveltowns.jp/flighttime/brunei/>